

# 在宅小児人工呼吸器・気管切開児の状況調査

平成 26 年 3 月

奈良県

医療政策部保健予防課

## I. 調査の概要

### 1. 名称

在宅小児人工呼吸器・気管切開児の状況調査

### 2. 調査の目的

小児在宅医療において、現在在宅で暮らす小児慢性特定疾患児（人工呼吸器装着児および気管切開児）とその家族の状況を把握することで、小児等の在宅医療が抱える課題を抽出し、できる限り住み慣れた家庭や地域で療養することができるよう在宅医療提供体制を整備するための基礎資料とすることを目的とする。

### 3. 調査実施期間

平成 26 年 1 月

### 4. 調査基準となる期日

平成 26 年 1 月末時点

### 5. 調査対象者

県内の保健所（奈良市保健所を含む）で支援している小児慢性特定疾患児（人工呼吸器装着児・気管切開児）53名、およびその家族

### 6. 調査事項

児の身体状況に関することや必要な医療処置・サービス利用状況、協力者の有無、現在困っていること等

### 7. 調査方法

調査用紙を作成し、保健所担当者が記入。

### 8. 調査実施者機関

医療政策部保健予防課

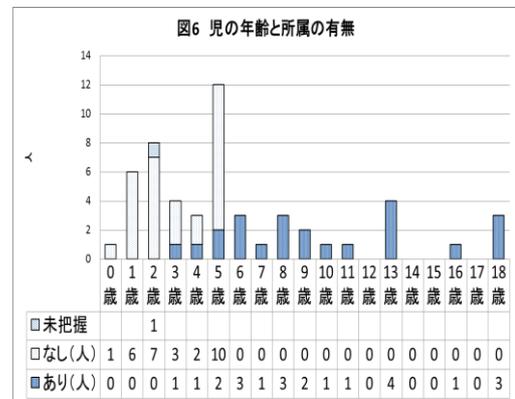
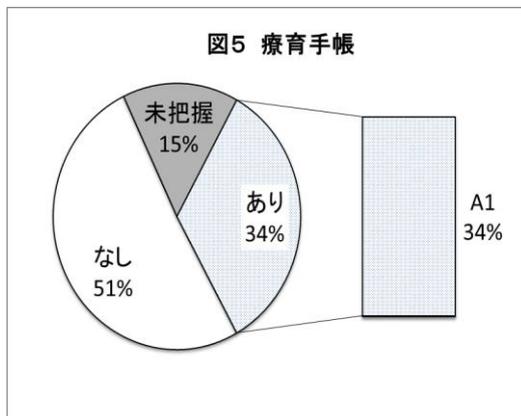
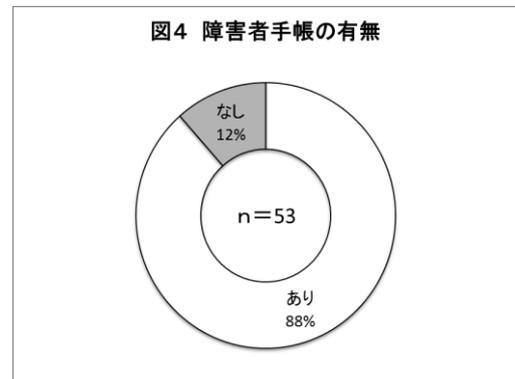
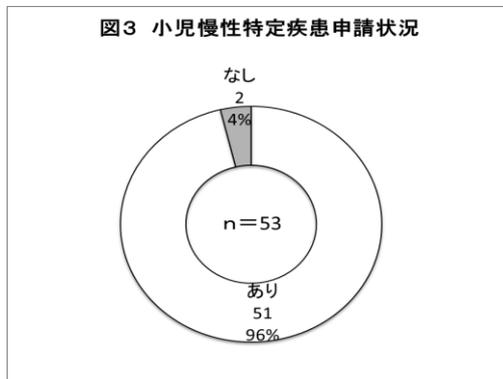
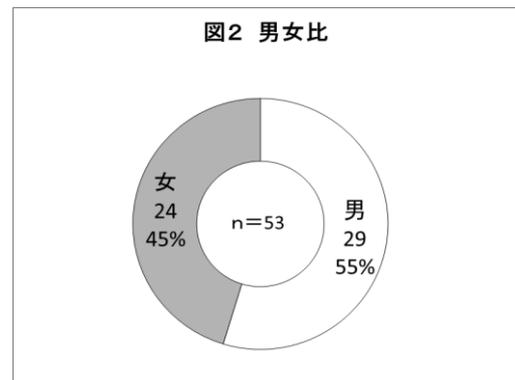
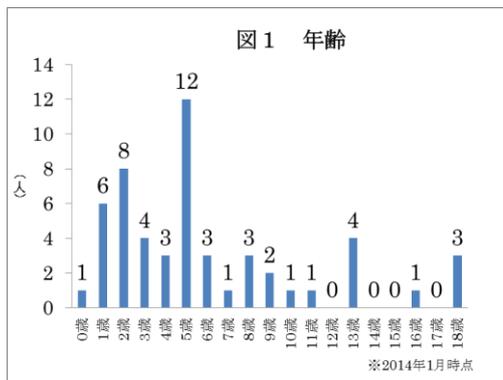
## II. 調査結果

### 1. 児の状況

対象者数 53 名、6 歳までで全体の 70% を占める（図 1）。男女比は男児が女児よりやや多い（図 2）。小児慢性特定疾患申請は 96% が申請しており、障害者手帳についても約 90% が申請している（図 3、図 4）。

療育手帳の所持率は約 34% で、等級は全て A1 であった。（A1 → 最重度、A2 → 重度、B1 → 中度、B2 → 軽度）

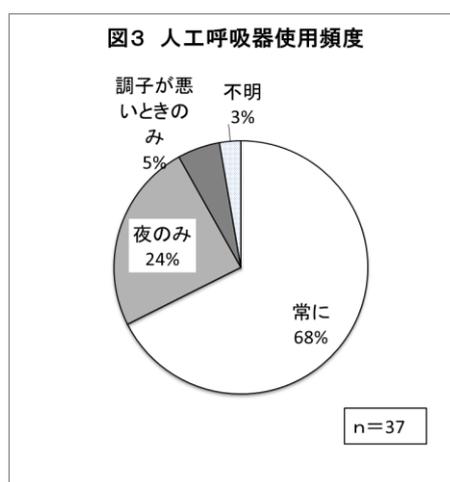
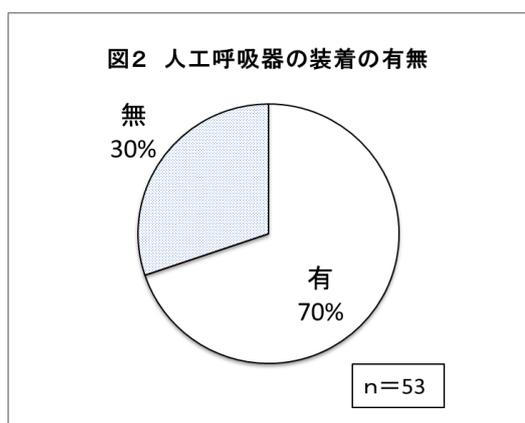
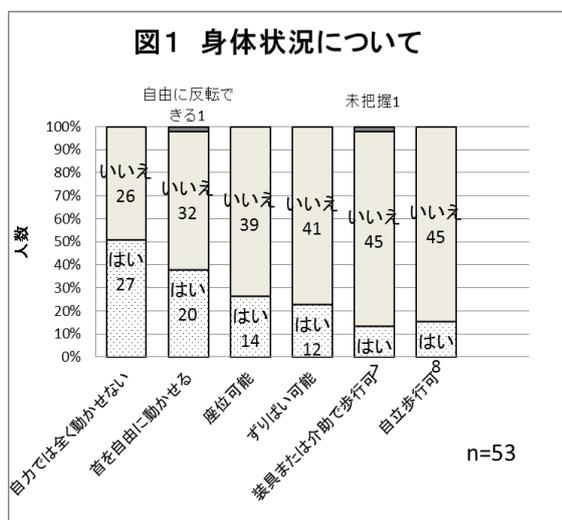
6 歳以上の児はいずれかに所属、所属先の内訳は表 1 に示すとおりである。（図 6、表 1）



なし	29
明日香養護学校	11
奈良養護学校	3
わかくさ愛育園	1
ろう学校幼稚部	2
奈良県ろう学校	1
飛鳥学院幼稚園部	1
市立小学校	2
華の明	1
市立保育園	1
仔鹿園	1

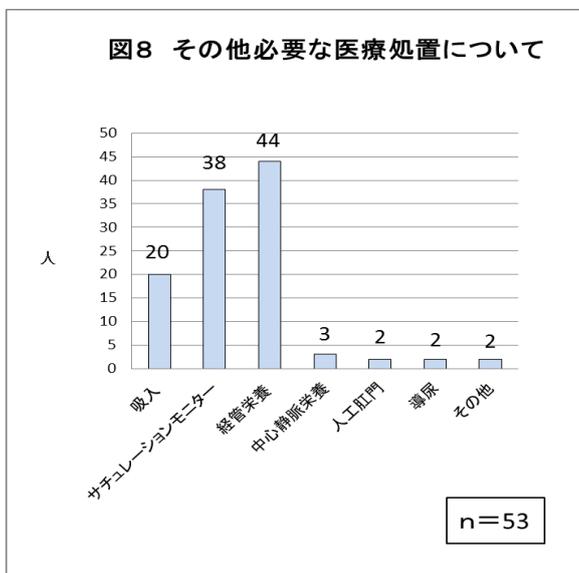
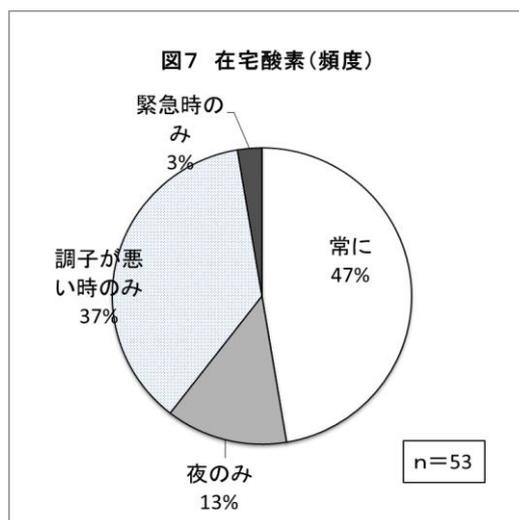
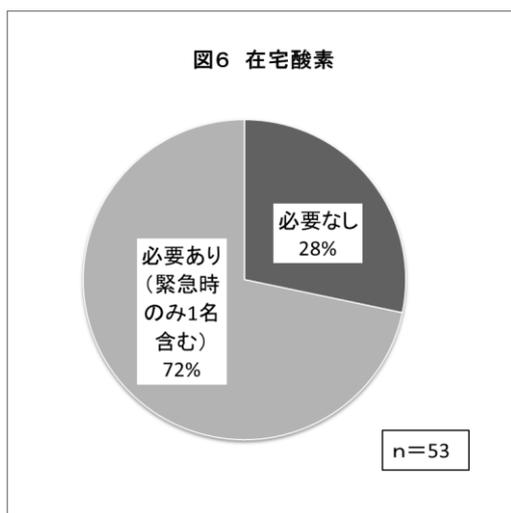
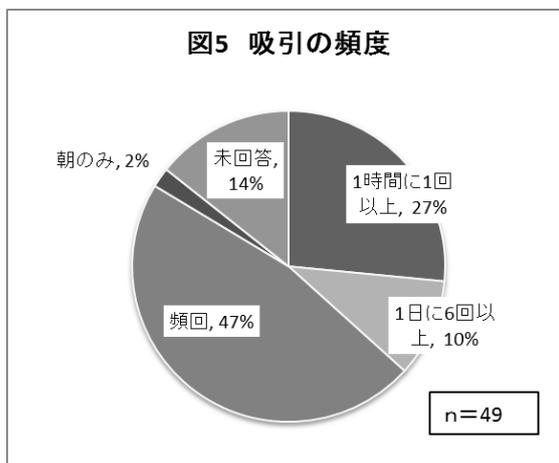
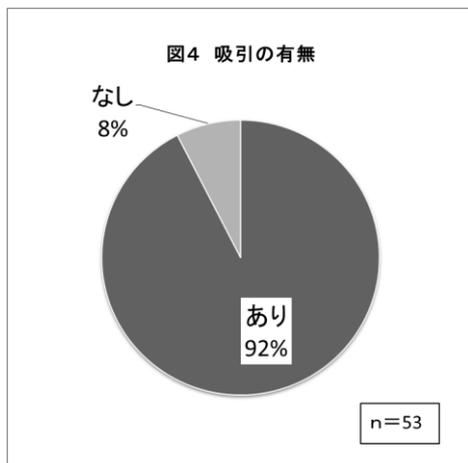
## 2. 身体の状態と医療処置について

身体状況について、90%を超える児が自力歩行不可、約半数は自力では全く動かさないであった。座位可能な児は約26%である（図1）。70%が人工呼吸器を装着、うち約70%が常に装着している。（図2、3）



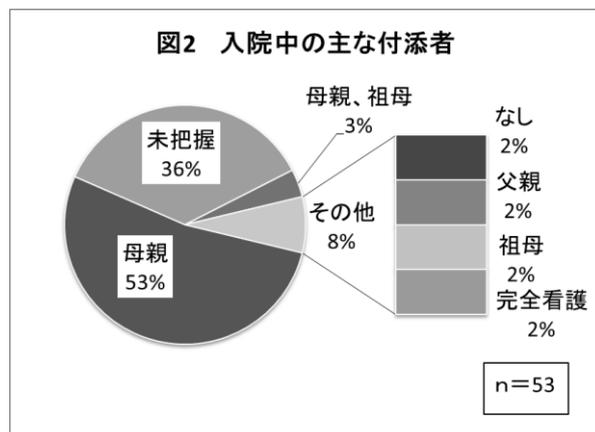
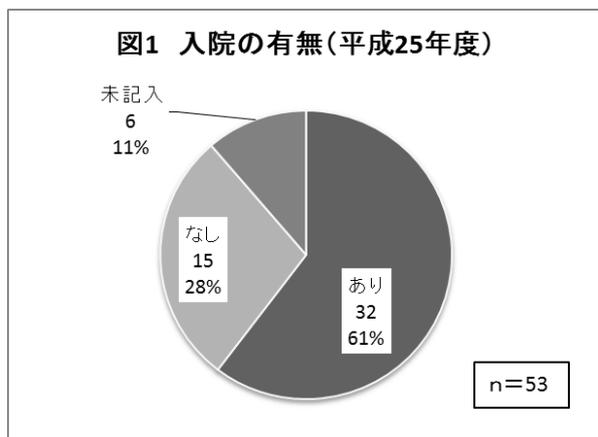
約 92%に吸引が必要で、うち 45%は頻回、25%が 1 時間に 1 回以上実施している（図 4、5）。

在宅酸素が必要な児は約 72%、約 47%が「常に」使用であった（図 6、7）。その他の必要な医療処置については図 8 に示す通り。

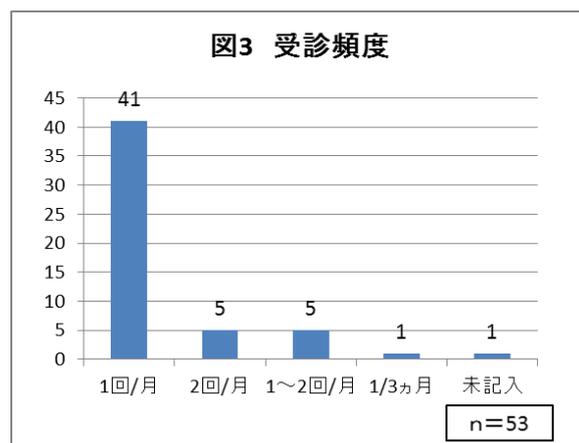


### 3. 入院の有無や受診状況、サービスの利用状況について

主な付き添い者は母親が約 53%と半数を占めている（図 9）。入院中の困り事としては、回答のあった 29 名中 18 名（約 62%）が家族や兄弟の世話であった（表 2）。受診頻度については月に 1 回受診している児が全体の約 77%を占めていた（図 13）。



困りごと	人数
家族・兄弟の世話	18
特になし	4
病院が遠く通えない	2
付き添い支援がほしい	2
生計中心者の母が仕事を休まなければならない	1
児が寂しがるため、母も様子を見に行ってしまう	1
入浴、食事、洗濯	1
受診待ち時間が長く体調を崩す	1
カニューレを抜く危険あり、目が離せない	1



訪問看護を 2 箇所または 1 箇所利用している児が約 80%以上であった。（図 4）

また、訪問入浴について 23%が利用している（図 5）。病院でのリハビリは約 40%の児がうけており、うち約半数が週に 1 回利用していた（図 6, 7）

レスパイト入院の利用は約 23%が利用されており、また、利用していない者のうち、希望するのは約 15%であった。（図 9）

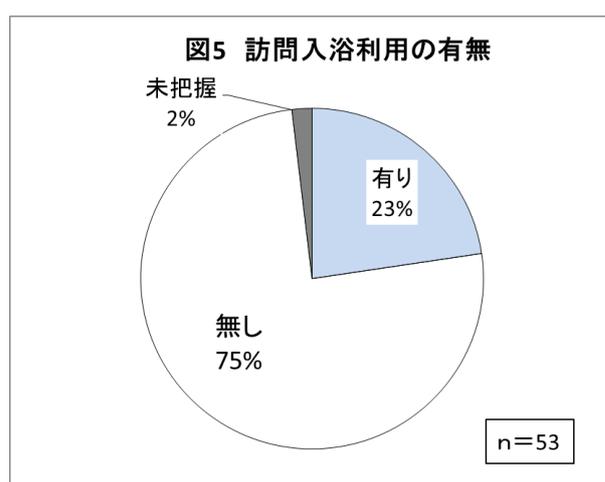
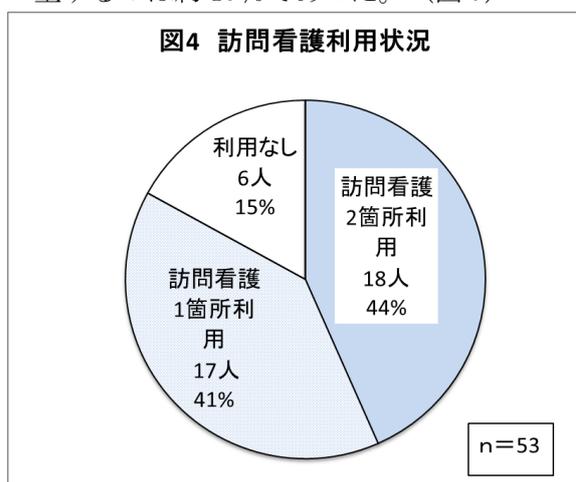


図6 病院でのリハビリの有無

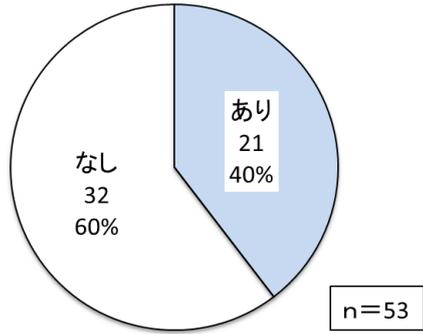


図7 リハビリの利用頻度について

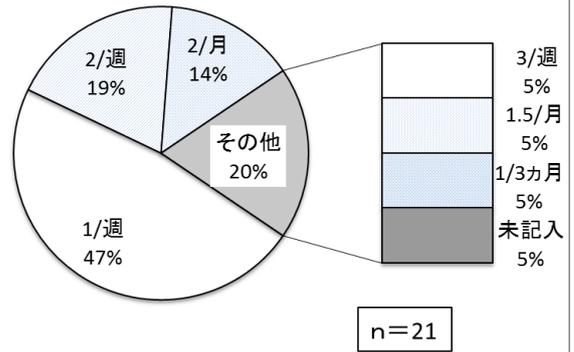


図8 児童ディサービス利用状況

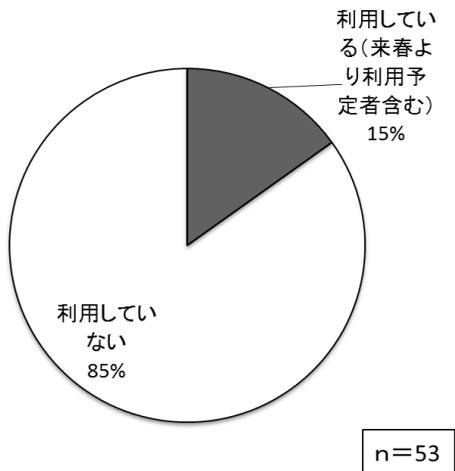


図9 ヘルパー利用状況

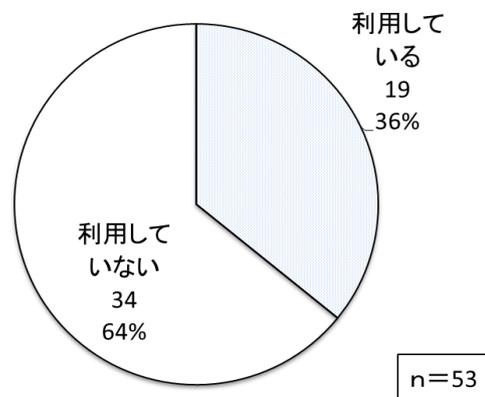


図10 レスパイト入院利用状況

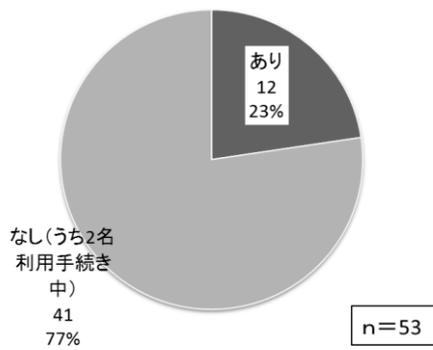
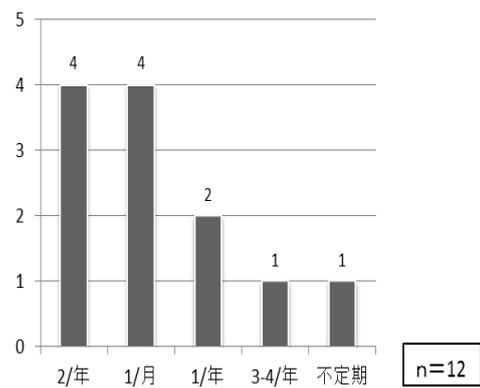


図11 レスパイト入院利用者:頻度



主な介護者については母親が92%、祖母が4%であった。(図14)

介護者の健康状態としては92%が良好であった。(図15) 家族などの介護協力者については

は、約89%が協力者あり、約7%が協力者なしであった。(図17)

